

平成 30 年 8 月 31 日 (金曜日)

元国土交通省技監の足立敏之自民党参院議員を「励ます会」が29日、東京都内のホテルで開かれた。所属する宏池会(岸田派)の古賀誠名誉会長や岸田文雄会長(自民政調会長)のほか、建設業界関係者ら多数が出席。自然災害が激甚化・頻発化する中、現場主義の国会議員としてさらなる活躍に期待を込めた。足立氏は「建設産業再生」に加え、新たに「インフラ再生」を掲げ活動すると宣言した。



励ます会であいさつする足立敏之参院議員。29日夕、東京都千代田区のホテルグランドパレス

「建設産業再生」「インフラ再生」2本柱で

励ます会の発起人を代表して後援会長の内孝雄元参院議員があいさつした後、脇雅史前参院議員が「安全で良質なインフラを提供するには建設産業が健全でなければいけない。現場の実態に沿い、現場がうまくいくことに第一に取り組んでほしい」、佐藤信秋参院議員が「社会を支える建設産業が新3K(給与・休日・希望)の産業によみがえることが大事。足立先生と一緒に汗をかいていきたい」と述べた。

足立議員

励ます会に業界関係者ら

のこれからの活動にさつに立ち、足立氏
メールを送った。

と述べた。
岸田氏は7月の豪雨で被災した地元広島を足立氏と共に視察したことを踏まえ「徹底した現場主義こそ足立先生のすみ。建設産業は課題が山積しているが、期待を受け止め活躍することを願っている」、古賀氏は「役人は法の枠の中で考え行動するが、政治家は枠にないものを求める国民の声にこたえる。防災減災で政

治主導の先頭に立つ足立先生に期待している」と激励した。

日本建設業連合会の山内隆司会長は「足立先生の豊富な知識と経験に裏打ちされた確かな情報発信力に期待している。建設業界の思いを国会などで積極的に取り上げていただきたい」と述べた。宮沢洋一参院議員(自民税調会長)、谷公一衆院議員、古屋圭司衆院議員、盛山正仁衆院議員(自民国交部長)もあいさつに立ち、足立氏にこの活動にさつに立ち、足立氏メールを送った。

足立氏は「建設産業再生」に向けて公共投資の量と質の確保に引き続き全力を注ぐとした上で、「新たに『インフラ再生』を訴えていく。事前防災などの投資を怠ることは災害の発生を看過すること。いま投資をしないことが後世へのつけ回しとなる」と強調。インフラの老朽化対策や整備水準の向上に取り組むことを誓った。